

東日本大震災から、3年半。被災地では、懸命な復興活動が続いています。

計画的避難区域 福島県飯舘村の復興支援企画

1/2P

「までいをまとう」販売会

10月12日(日)・13日(月・祝) そごう大宮店で開催

■会期:10月12日(日)・13日(月・祝)午前10時～午後8時※10月13日(月・祝)は午後6時まで

■会場:そごう大宮店 3階 特設会場

■主催:いいたてカーネーションの会

東日本大震災から、3年半が経ちましたが、未だ被災地域では、多くの人々が、自宅を離れた仮設住宅での生活を余儀なくされています。

そのような中、そごう大宮店(埼玉県さいたま市)では、10月12日(日)・13日(月・祝)の2日間、被災地である福島県飯舘村の女性たちが、全国より善意で寄贈された着物や布はくを使い、心を込めて作った「まで衣着」と名付けた作務衣などの衣料品・小物など約50アイテム約3,000点を、自らが販売するという「**までいをまとう**」販売会を開催いたします。

「までい」とは、「大切に」「心を込めて」という意味の福島県飯舘村周辺の言葉です。

「までいをまとう」販売会は、セブン&アイグループによる被災地の復興支援活動の一環として2012年3月からスタートし、これまで多くのお客様のご理解とご支援ご支持をいただきながら、

“**飯舘村の女性たちの自立支援を目的として続けている活動**”です。



・3年半経過。復興はまだ道半ば。



・飯舘村の女性たちの、ひと針の想い



・「まで衣着」と名付作務衣の一例

あわせて、**飯舘村の風景、仮設住宅内でのまで衣着製作の様子を伝える**写真パネル約35点の展示もいたします。

◆「自立をめざす飯舘村の女性たち写真展」

・10月12日(日)～13日(月・祝)※最終日10月13日(月)は午後6時に閉場

飯舘村の女性たち「いいたてカーネーションの会」の自立の歩みは続きます



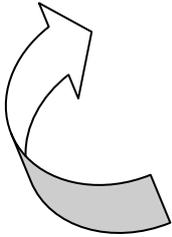
●全国から寄贈された着物をリメイク



●そごう・西武 法人外商のデザインアドバイス



●協力メーカーも技術指導で参加



●飯舘村の女性たちが自ら接客



●開催に向け、会場店舗で打ち合わせ。



●西武・そごうの店舗会場(今回は、そごう大宮店)で販売。売上は全額カーネーションの会へ。

